

「課題名：臨床検体を用いた重症呼吸不全・敗血症の多角的病態解明および
新規治療法開発」について

○ 研究の意義・目的

重症呼吸不全・敗血症患者さんの治療では新しい知見が増えてきていますが、未だ解明されていない事も多く残っています。今回、患者さんから採取させていただいた血液、気道、口腔内物質、便検体を分析することで、呼吸不全に対する治療がより進むようにするため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

当院での2016年1月1日から2023年3月31日までに、広島大学病院高度救命救急センターで呼吸不全・敗血症などの治療をうけられた患者さん、もしくは、健康な方で検体採取のボランティアを引き受けてくださる方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、患者さんから診療時に採取させていただいた血液、気道、口腔内物質、便検体など、もしくはボランティアの方から採取させていただいた、血液、口腔内物質、便検体などを使用することと、診療録（カルテ）情報を転記して行います。

検体を使用し、病原体の塩基配列決定・培養検査による病原体の同定を試みることで、エピゲノムの変化と疾患との関連を明らかにすることと同時に、気道上皮被覆液中に発現している蛋白を解析し、治療効果との関係を調べます。

カルテから転記する内容は身長、体重、性別、年齢、病名、合併症、入室時の状態、培養検査結果、X線・CT検査、治療内容、血液ガス検査、血液検査です。（個人が特定出来る情報は転記しません）

研究は当大学のみならず、京都府立医科大学・医薬基盤研究所・早稲田大学・千葉大学・東京大学に検体を送付し、検体を用いた研究を行います。（広島大学に研究結果を含めた情報を集め解析します。）

得られた病原体のシークエンスデータは、DDBJ: DNA Data Bank of Japanへデータ登録し、国内外の研究者間で共有します。

○ 研究期間 2016年8月5日（委員会承認後）～ 2024年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel:082-257-5586

広島大学大学院医系科学研究科 教授 志馬 伸朗（研究責任者）

助教 京 道人（担当者）

夜間休日診療医 菊谷知也（担当者）